

平成 28 年度 麻生区市民提案型協働事業 中間報告

団体名 (かわさきかえるプロジェクト)		
事業名 (菜の花でつながる人とまち)		
① 事業の概要	廃食油回収と「菜の花プロジェクト」を基本に、地産地消を楽しみながら、市民参加型の地域内資源循環を実現する。 1. 菜の花プロジェクトによる台所からの温暖化ストップと CO₂ 削減の広報 2. 市民環境団体と連携した連続講座の開催 3. 菜の花プロジェクトパンフレットの作成 4. 資源循環アピールのためのメッセージカードの作成 5. 菜の花&廃食油回収ニュースレターの発行	
② 上半期（9 月末まで）の事業の取組状況	取組の経過	取組に伴う効果
	1. 菜の花プロジェクトによる台所からの温暖化ストップと CO₂ 削減の広報 ① 親子企画「麻生産菜種油でランチをしよう！」を 8 月 2 日（火）に開催、麻生産菜種油を使ってケーキを焼き、焼いている時間で資源循環セミナーを実施した。麻生市民館料理室、親子 14 組 30 名参加。 ② 市民向け企画「麻生産菜種油でヘルシーランチ！！」を 8 月 29 日（月）に開催、ランチメニューを調理し、資源循環セミナーを実施した。麻生市民館料理室、11 名参加。 ③ 菜の花プロジェクト報告会を 9 月 26 日（月）に開催、2016 年度産菜種油を使った調理実習・試食と活動報告を行った。麻生市民館料理室、37 名参加。 2. 市民環境団体と連携した連続講座の開催 ① 「私にもできることを考えよう！」と題し、9 月 30 日（金）より、隔週 5 回の環境連続講座を企画し、各団体からの講師派遣を要請して講演内容についての協議を行った。 ● 第 1 回：9/30 かわさきかえるプロジェクト「地域資源循環・菜の花プロジェクト」 ● 第 2 回：10/14 麻生区クールアース推進委員会「自然エネルギーの普及啓発活動」 ● 第 3 回：10/28 新あさお生きごみ隊・環境を考え行動する会「生ごみの有効活用・地域資源循環」 ● 第 4 回：11/11 里山フォーラム in 麻生「里山保全運動を通じた環境と文化の醸成」 ● 第 5 回：11/25 グループ「せっけんの家」・かわさきかえるプロジェクト「地域資源循環、せっけん利用推進、麻生産菜種油でケーキ作り」 ② 9 月 30 日（金）第 1 回、麻生市民館第 1 会議室、参加者 4 名。 3. 菜の花プロジェクトパンフレットの作成 明治大学農学部本所ゼミと連携し、麻生区独自の菜の花プロジェクトパンフレットを作成し、3000 部印刷した。 4. 資源循環アピールのためのメッセージカードの作成 ① 麻生区産菜種油を材料にしたクッキーの製造販売を店舗との連携で継続している。明治大学本所ゼミとも連携し、資源循環をアピールするクッキーにつけ	● 親子企画で菜の花プロジェクトを通じた資源循環を伝え、せっけん学習も行っており、環境保全への理解を広げることができた。 ● 市民向け企画で菜の花プロジェクトを通じた資源循環を伝え、せっけん学習も行っており、環境保全への理解を広げることができた。1 名がボランティアに登録した。 ● 菜の花プロジェクトにかかわっている行政、市民、地域生産者、研究機関、地域活動支援センターの連携を実感し、環境まちづくりの理解を深めることができた。 ● 要請した全団体より了承を得て連続講座を開講することができた。 ● 第 1 回は参加が少なかったが、菜の花プロジェクトを通して環境市民活動を伝えることができ、2 名がボランティアに参加した。 ● パンフレットは秋のイベント参加や廃食油回収時に配布し、菜の花を起点とした地域資源循環活動をアピールすることで、環境保全意識を高めることが期待できる。 ● メッセージカードは秋の活動で活用する。麻生産菜種油使用をアピールして、菜の花プロジェクトによる環境まちづくりへの関心を広げる

	るメッセージカードを作成した。 5. 菜の花&廃食油回収ニュースレターの発行 ① ニュースレターの発行：2016年6月、9月にこれまでの活動協力者、参加者を対象に送付した。(1回、約360通) ② 町内回覧の実施：6月準備7月回覧、8月準備9月回覧の2回実施した。	ことが期待できる。
③ 課題と改善方法	● 連続講座を企画し、上期に第1回を開催したが、参加者が4名と非常に少なかった。第2回以降への参加を高めるために、チラシを増刷し、参加呼びかけを強めている。	
④ 下半期(3月末まで)の取組予定	1. フォーラムの開催:菜の花プロジェクトの報告会を兼ねたフォーラムは2017年2月をめどに開催する。詳細は11月に決定する。 2. 環境連続講座：第2回～第5回を開催する。 3. 菜の花&廃食油回収ニュースの発行と町内回覧の実施：2016年度ニュースレター第3号を2017年1月に発行する。町内回覧3回目を2016年1月または2月に実施し、秋の活動報告とフォーラムの開催のお知らせを行う。	